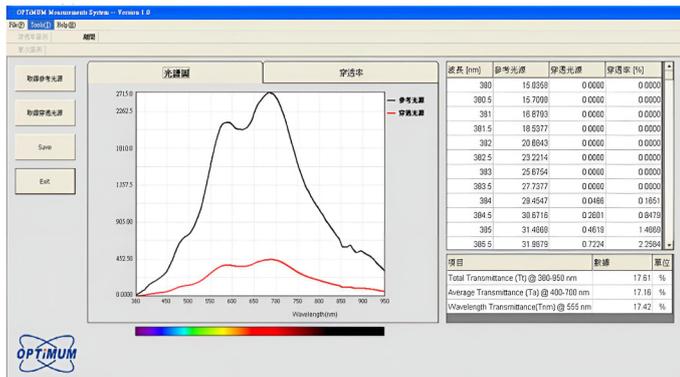


SM-HR-7200 ガラス透過率測定システム

SM-HR-7200ガラス透過率測定システムは、全光束垂直透過率測定に特化した高性能システムです。

SM-HA-4000 CCDアレイ分光器(浜松CCD)を搭載し、420nmから1050nmの広範囲な波長域をカバーします。測光精度は555nmで0.5%、測光再現性は420nmから900nmで±1%(その他±2%)と非常に高く、0.5nmの分光分解能と1nmの波長再現性により、詳細な透過率特性を正確に測定できます。

高出力ハロゲンランプと積分球均一光源により、均一で安定した照明を提供します。3mmから6mmの手動調整可能なスポット径と、150x150mmのサンプル台(特注可能)により、様々なサイズのサンプルに対応します。



測定時間は0.5秒から10秒と迅速で、光源応答曲線や総透過率、平均透過率、@550nm透過率の表示、さらに全波長における各波長データの表示、自動および手動での測定データ保存が可能です。

モデルタイプ	SM-HR-7200 ガラス透過率測定システム
機能	全光束垂直透過率測定
検出器	SM-HA-4000 浜松ホトニクス製CCDアレイ
波長範囲	420~1050 nm
測光精度	± 0.5% @555 nm
測光再現性	± 1% (420~900 nm)、他の波長は±2%
スペクトル分解能	0.5 nm
波長再現性	1 nm
システム構成	積分球均一光源、分光放射計
光源	高出力ハロゲン光源
スポット径	3~6 mm (手動調整)
サンプル台サイズ	150 x 150 mm (特注可能)
測定時間	0.5~10 秒
サンプル測定台	手動テストプラットフォーム、手動回転台(xy軸調整可能)
測定ソフトウェア	反射曲線図(スペクトル図およびサンプルの反射スペクトル)、総透過率、平均透過率、550nmでの透過率、全波長範囲の各ポイントのデータ
対応OS	Windows 11 / USB 2.0

